

茎数多い。早急に、中干しを!

1 生育概況(コシヒカリ 6/18現在)

現在の生育(指標値比)

平地	草丈:並 (103%)	茎数:多い (130%)	葉数の進み:早い (+0.8)	葉色:並 (SPAD値-0.8)
中山間地	草丈:並 (98%)	茎数:やや多い (108%)	葉数の進み:やや早い (+0.4)	葉色:やや淡い (SPAD値-1.2)

○生育は草丈、茎数、葉数の進みとも前回調査より指標値に近づいてきており、葉色はやや淡くなってきています。

2 調査結果 (普及センター、JA調査ほ)

(1)コシヒカリ

	場所	標高 (m)	田植 (月日)	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
				本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差		
平地	今熊 (浦川原)	14	5/10	41	89%	103%	540	株当 27.2	91%	142%	9.6	0.0	+1.1	38.4	-5.6	-0.6	
	長走 (浦川原)	23	5/17	41	-	103%	446	株当 25.5	-	117%	9.0	-	+0.5	37.9	-	-1.1	
	平均			41	-	103%	493	26.4	-	130%	9.3	-	+0.8	38.2	-	-0.8	
	宮口 (牧)	57	5/24	34	100%	85%	234	株当 12.3	108%	62%	7.3	0.0	-1.2	37.4	-1.8	-1.6	
中山間地	和田 (安塚)	133	5/15	40	103%	100%	363	株当 17.6	118%	96%	9.4	+0.7	+0.9	35.7	-5.3	-3.3	
	大島 (大島)	152	5/10	42	105%	105%	617	株当 31.8	162%	162%	8.8	-0.3	+0.3	38.1	-4.5	-0.9	
	菖蒲 (大島)	340	5/18	38	103%	95%	352	株当 17.1	177%	93%	8.7	+0.7	+0.2	36.5	-4.6	-2.5	
	高尾 (牧)	340	5/18	36	97%	90%	308	株当 17.2	86%	81%	8.7	+0.1	+0.2	40.9	-1.3	+1.9	
	平均			39	103%	98%	410	20.9	131%	108%	8.9	+0.3	+0.4	37.8	-3.9	-1.2	

(2)こしいぶき

	場所	標高 (m)	田植 (月日)	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
				本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差		
平地	長走 (浦川原)	23	5/16	36	106%	100%	437	株当 22.9	198%	121%	9.3	+1.5	+0.3	39.2	+0.5	-0.8	

(3)つきあかり

	場所	標高 (m)	田植 (月日)	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
				本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差		
中山間地	高尾 (牧)	285	5/17	49	120%	114%	526	株当 22.1	280%	159%	9.2	+1.5	+1.4	39.6	+0.9	-1.4	

3 今後の管理のポイント

- 中山間地でも中干しの開始時期になっています。遅植えのほ場も遅れずに中干しを始めましょう。**
 - 平地、中山間地ともに引き続き中干しを徹底して過剰生育を防止しましょう。
 - すでに中干しを実施しているほ場では、確実に溝切りを行うことで排水を促し、田面に幅1cm程度の小ヒビが入る程度まで乾かしてください。
 - 切った溝は確実に排水口につなぎ、溝が戻った場合は再度切り直す等の手直しを行うことで中干し効果を高め、水を効率的に使用することができます。
 - 「つきあかり」の1回目穂肥時期が近づいています。出穂期は平年より1日程度早い(前年並み)と予想されています。遅れずに出穂の30~25日前に窒素成分で2.0~1.5kg/10aを施用しましょう。**
(5月上旬の移植では、出穂は7/22頃で、1回目の穂肥時期は6/22~6/27頃の見込みです。)
 - 継続的な湛水でワキの発生が多くなっています。天水田等では、降雨による水の入れ替えや、除草機等での中耕により、ガス抜きを行いましょう。
- ※天水田等今後の用水確保の困難なほ場では用水の確保状況に応じて中干し・溝切りを実施してください。